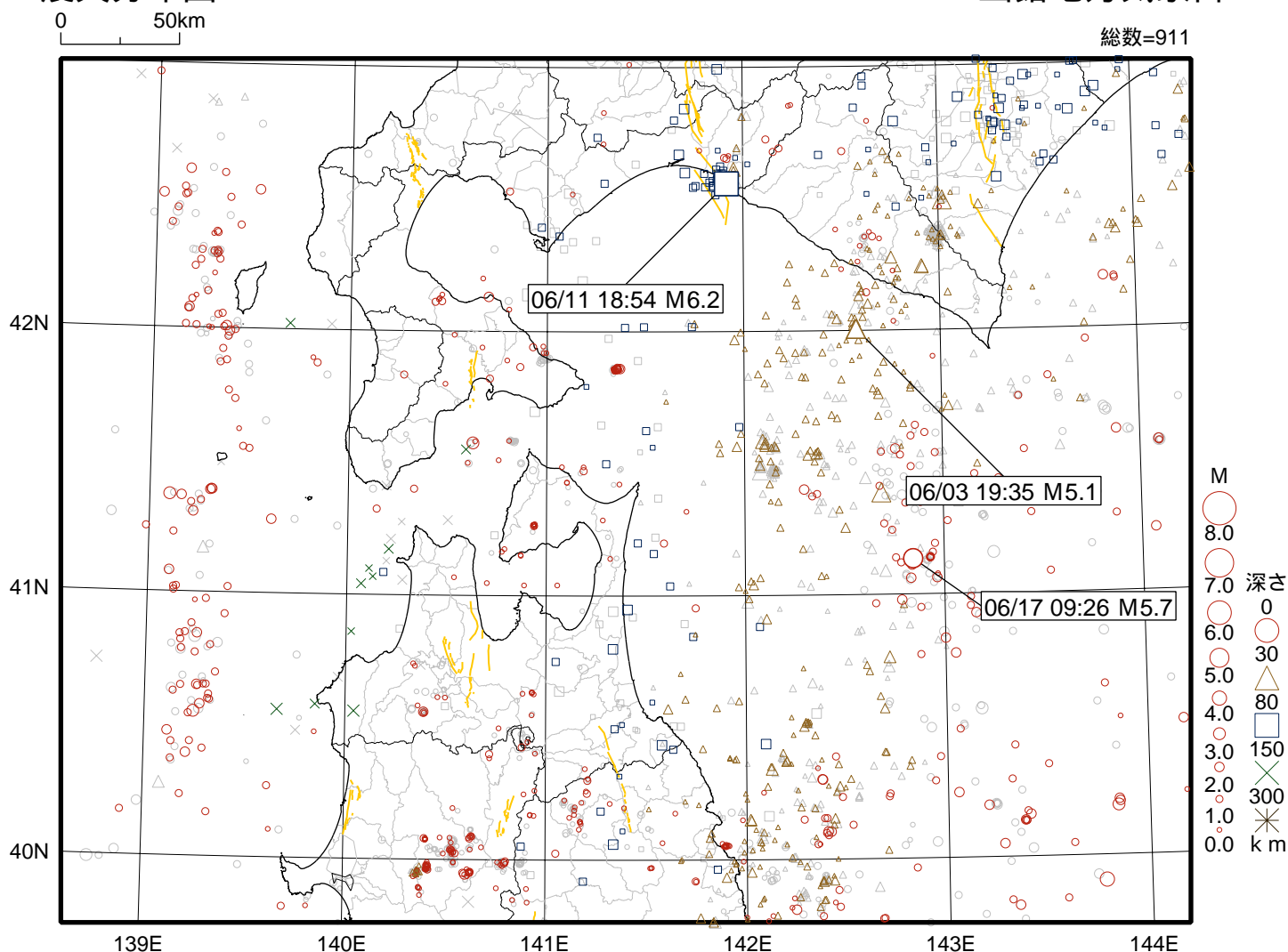


渡島・檜山地方の地震活動図

2023年6月1日～2023年6月30日

震央分布図

函館地方気象台



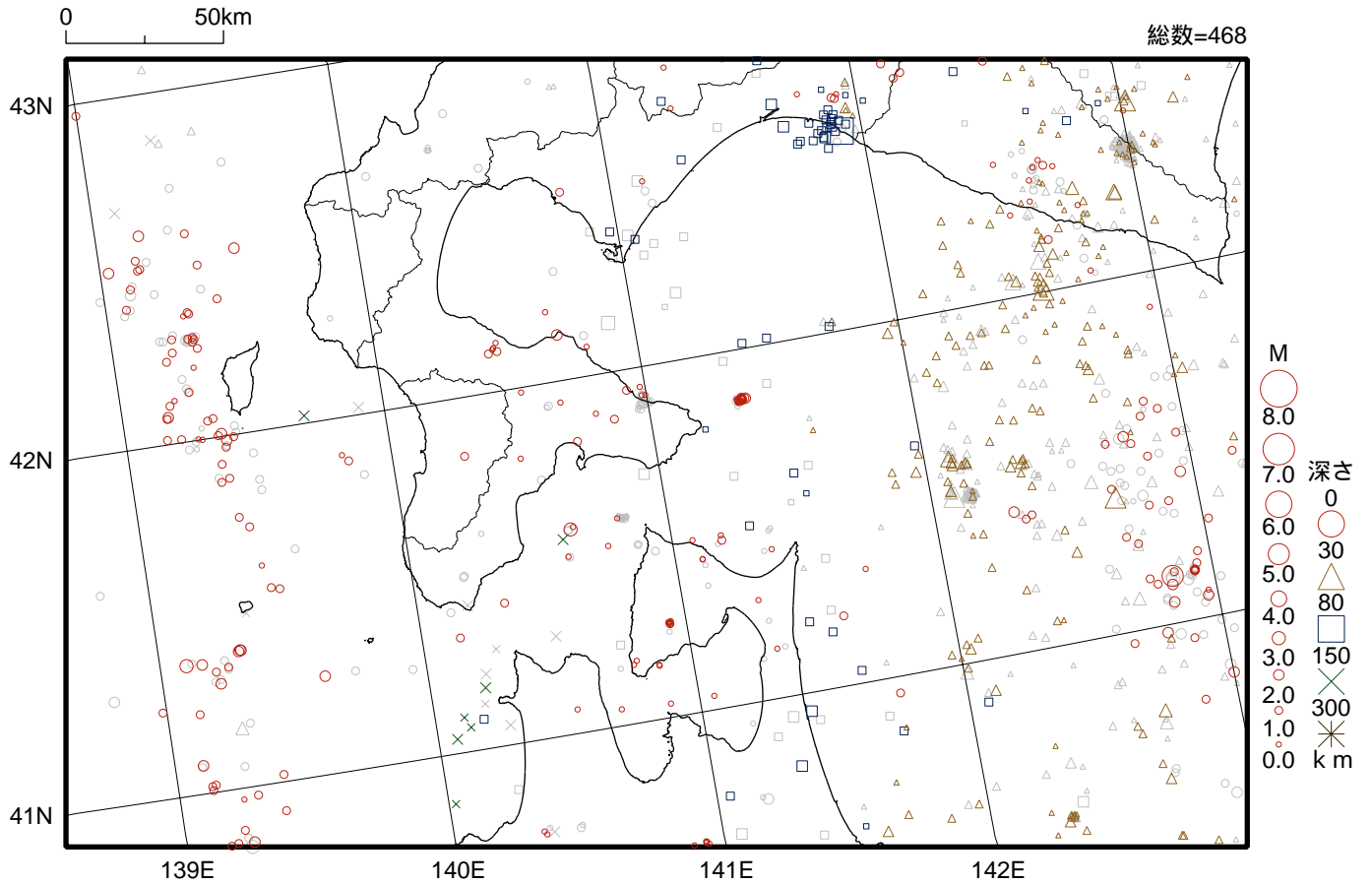
地震概況（2023年6月）

この期間、渡島・檜山地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は12回（5月は5回）でした（詳細は「渡島・檜山地方で震度1以上を観測した地震の表」参照）。

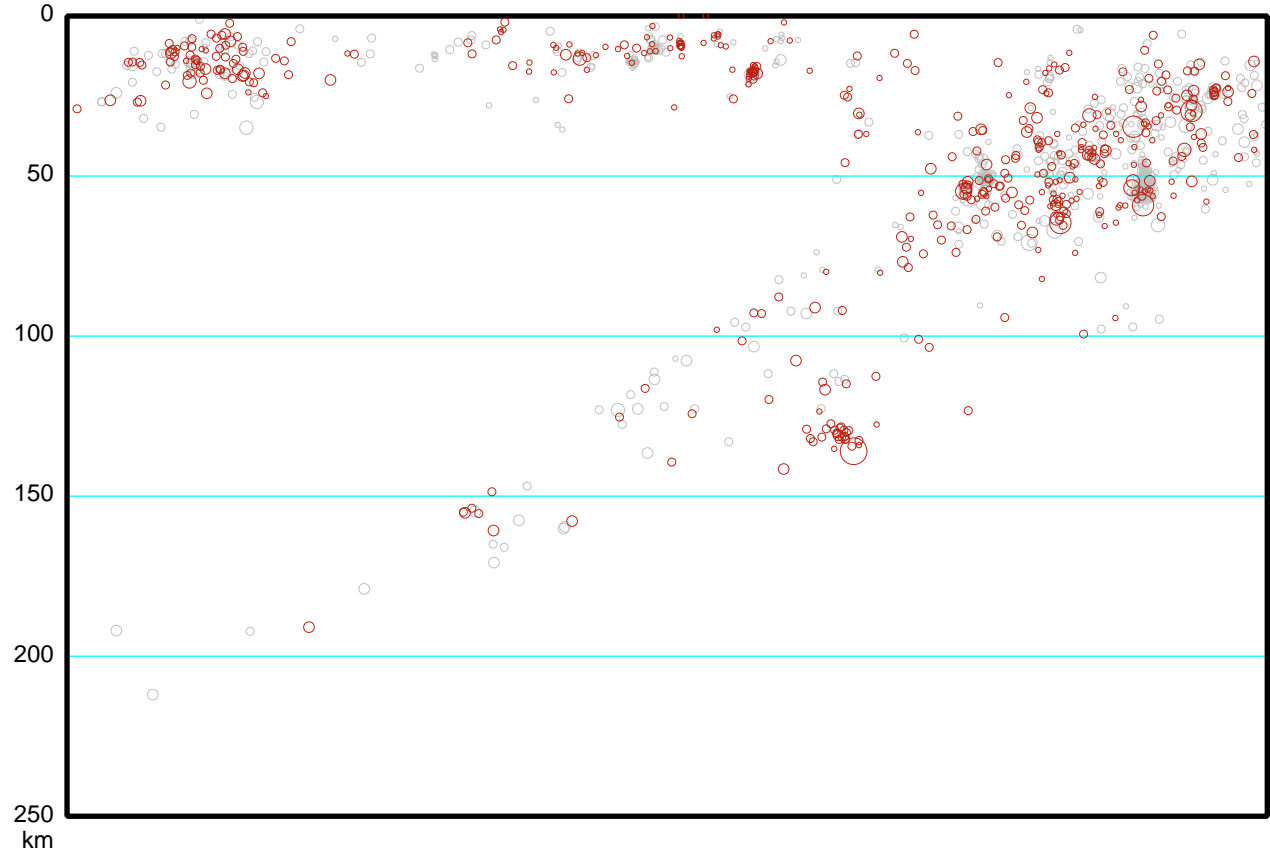
11日18時54分、苫小牧沖の地震(M6.2、深さ136km)により、函館市泊町、函館市新浜町で震度4を観測したほか、渡島・檜山地方の広い範囲で震度3～1を観測しました。情報発表に用いた震央地名は〔浦河沖〕です。

2023年6月1日 ~ 2023年6月30日

震央分布図



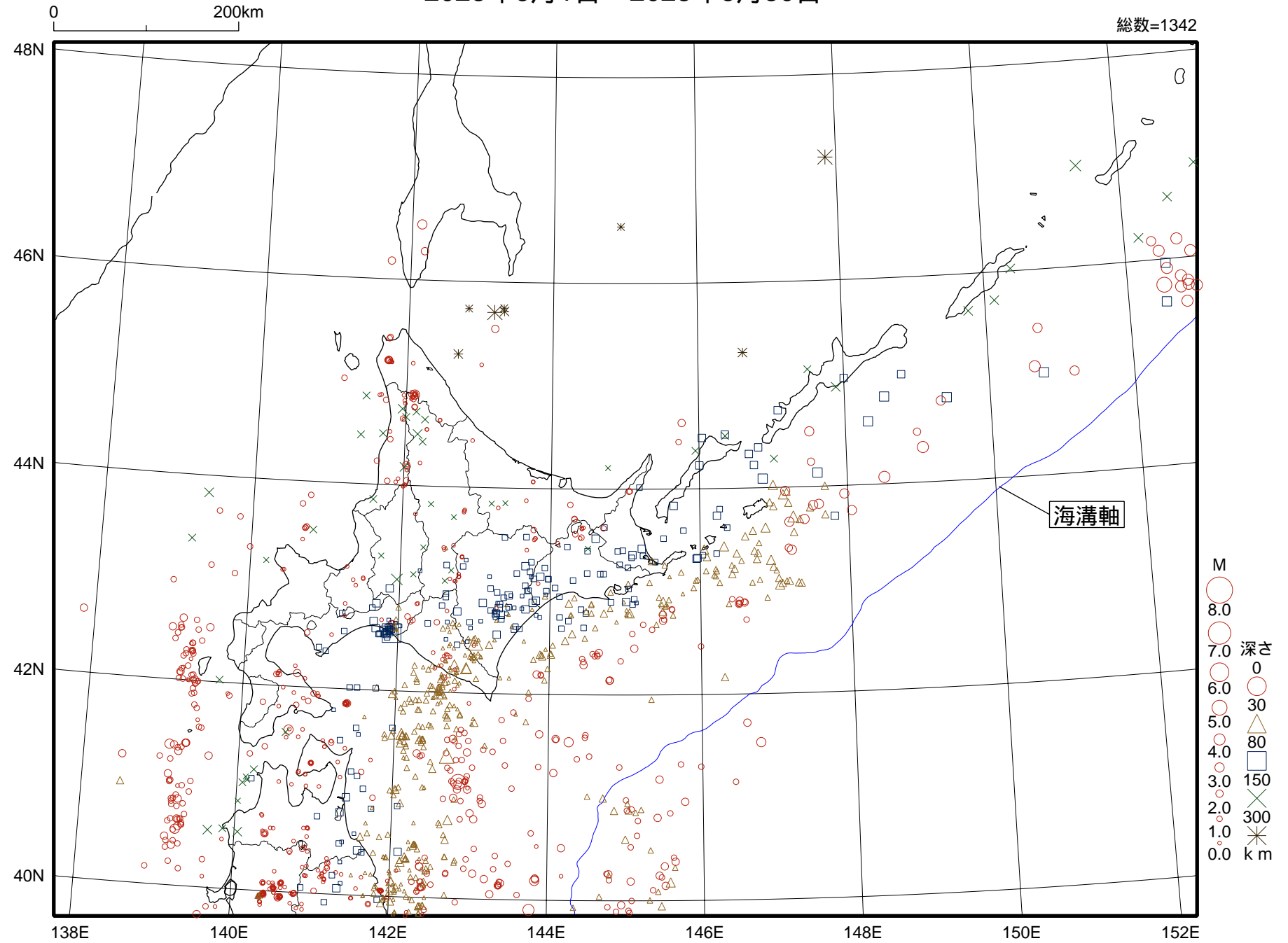
断面図



北海道の地震活動図

2023年6月1日 ~ 2023年6月30日

震央分布図



渡島・檜山地方で震度1以上を観測した地震の表(2023年6月)

年月日 地方	時分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯(N)	東経(E)	深さ(km)	規模(M)
2023年 6月 2日 渡島地方	16時45分 震度1	津軽海峡 函館市泊町*(08) 函館市川汲町*(08) 知内町重内*(10)	41°34.6 N	140°37.5 E	13 km	M3.3
2023年 6月 3日 渡島地方	19時35分 震度3 震度2 震度1	浦河沖 函館市泊町*(25) 函館市新浜町*(22) 函館市川汲町*(24) 鹿部町宮浜*(15) 長万部町平里*(09) 函館市尾札部町(13) 函館市美原(08) 函館市日ノ浜町*(09) 七飯町桜町(11) 七飯町本町*(11) 渡島森町御幸町(07) 渡島森町上台町*(09) 渡島森町砂原*(13) 福島町福島*(08)	42°00.3 N	142°34.2 E	65 km	M5.1
檜山地方	震度1	今金町今金*(07)				
2023年 6月11日 渡島地方	18時54分 震度4 震度3 震度2 震度1	苫小牧沖 函館市泊町*(36) 函館市新浜町*(44) 函館市尾札部町(28) 函館市美原(25) 函館市大森町*(25) 函館市川汲町*(31) 函館市日ノ浜町*(29) 七飯町本町*(25) 鹿部町宮浜*(29) 渡島森町砂原*(26) 長万部町平里*(22) 七飯町桜町(24) 渡島森町御幸町(20) 渡島森町上台町*(20) 渡島北斗市中央*(22) 渡島北斗市本町*(18) 知内町重内*(21) 木古内町木古内*(23) 八雲町上の湯(13) 八雲町住初町*(10) 八雲町熊石雲石町*(08) 渡島松前町福山(08) 福島町福島*(13) 知内町小谷石(06)	42°33.5 N	141°54.9 E	136 km	M6.2
檜山地方	震度2 震度1	上ノ国町大留*(19) 厚沢部町木間内*(18) 厚沢部町新町*(20) 乙部町緑町*(16) 今金町今金*(17) せたな町北檜山区徳島*(17) 檜山江差町姥神(13) 檜山江差町中歌町*(13) 上ノ国町小砂子*(05) せたな町北檜山区豊岡(07) せたな町瀬棚区北島歌*(09)				
2023年 6月17日 渡島地方	09時26分 震度3 震度2 震度1	青森県東方沖 函館市泊町*(25) 函館市大森町*(16) 函館市新浜町*(23) 函館市日ノ浜町*(17) 函館市尾札部町(06) 函館市美原(14) 函館市川汲町*(11) 七飯町桜町(13) 七飯町本町*(12) 鹿部町宮浜*(08) 渡島森町御幸町(07) 渡島森町上台町*(07) 渡島森町砂原*(11) 渡島北斗市中央*(12) 福島町福島*(09) 木古内町木古内*(14) 檜山江差町姥神(05) 厚沢部町木間内*(09) 厚沢部町新町*(13) 乙部町緑町*(10)	41°08.0 N	142°50.6 E	30 km	M5.7
檜山地方	震度1					
2023年 6月17日 渡島地方	18時37分 震度1	日高地方東部 函館市泊町*(09) 函館市川汲町*(05)	42°14.4 N	142°54.5 E	54 km	M4.1
2023年 6月17日 渡島地方	20時35分 震度2 震度1	オホーツク海南部 函館市新浜町*(19) 函館市泊町*(07)	47°11.7 N	147°50.8 E	457 km	M5.8
2023年 6月17日 渡島地方	20時42分 震度2 震度1	青森県東方沖 函館市泊町*(20) 函館市新浜町*(18) 函館市美原(10) 函館市大森町*(08) 函館市日ノ浜町*(11) 鹿部町宮浜*(06)	41°23.1 N	142°41.3 E	35 km	M5.0
2023年 6月19日 渡島地方	13時50分 震度2 震度1	十勝地方南部 函館市新浜町*(19) 函館市泊町*(12) 函館市川汲町*(09)	42°29.4 N	143°01.2 E	59 km	M5.0
2023年 6月22日 渡島地方	16時39分 震度2	青森県東方沖 函館市泊町*(17)	41°35.0 N	142°05.4 E	55 km	M4.1
2023年 6月22日 渡島地方	19時30分 震度1	空知地方南部 函館市泊町*(08)	43°04.9 N	141°57.6 E	157 km	M4.6
2023年 6月24日 渡島地方	02時39分 震度2 震度1	宗谷東方沖 函館市新浜町*(16) 函館市泊町*(11) 函館市川汲町*(05)	45°42.2 N	143°11.0 E	338 km	M5.8
2023年 6月28日 渡島地方	08時38分 震度1	日本海北部 函館市泊町*(11)	42°09.4 N	134°28.0 E	518 km	M6.3

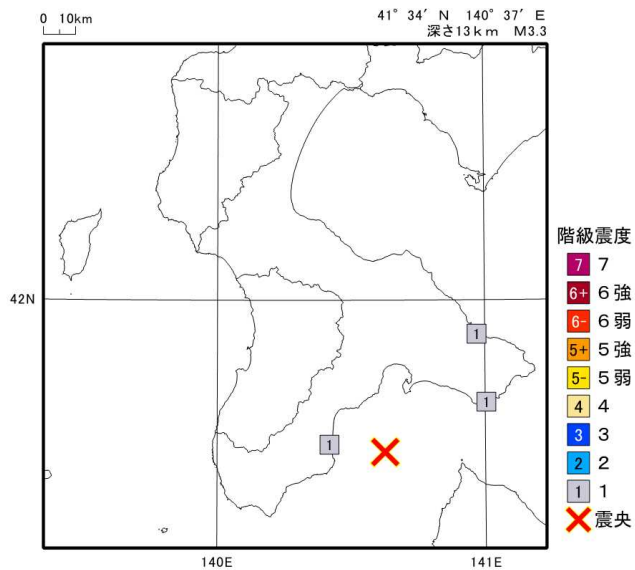
*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

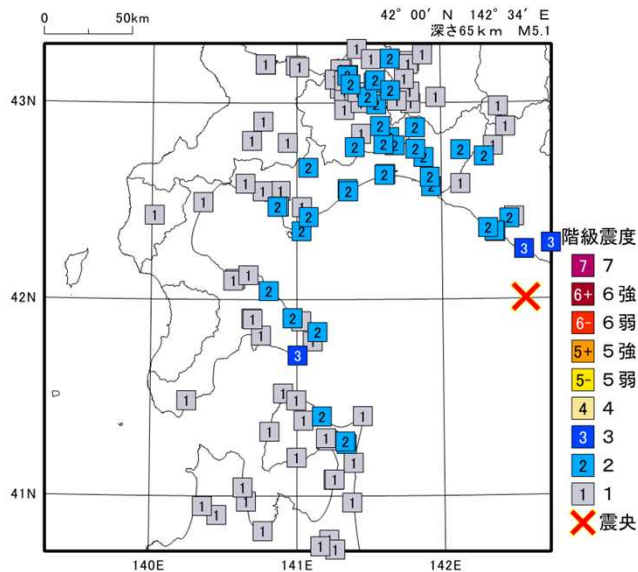
計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

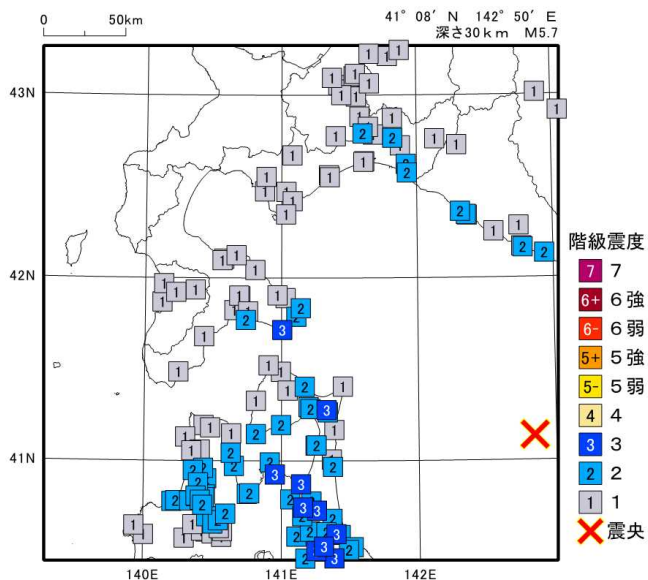
2023年 6月 2日16時45分 津軽海峡の地震の震度分布図



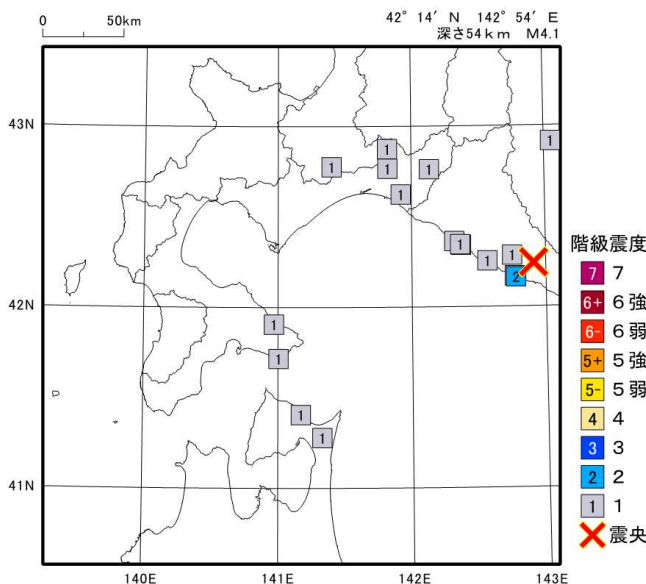
2023年 6月 3日19時35分 浦河沖の地震の震度分布図



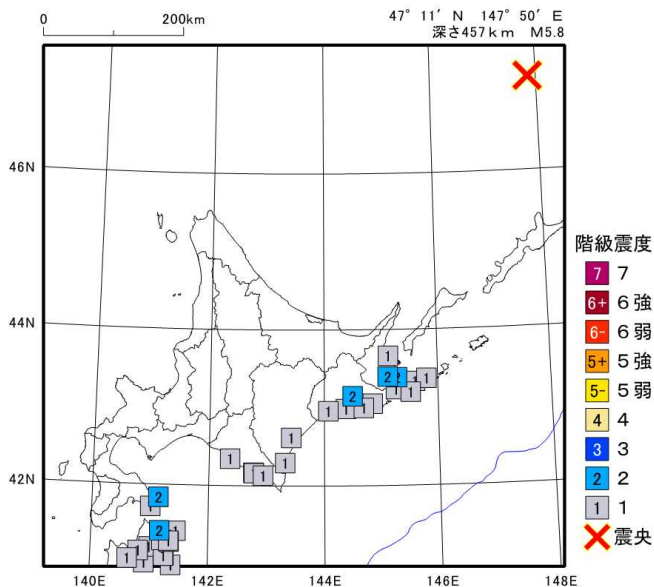
2023年 6月 17日09時26分 青森県東方沖の地震の震度分布図



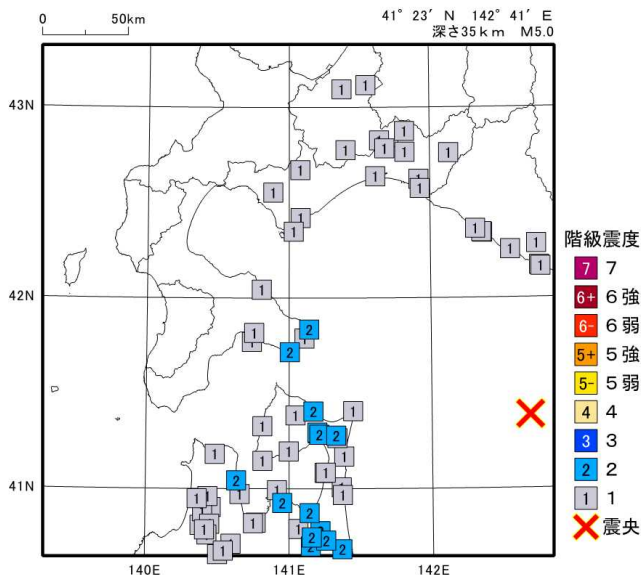
2023年 6月 17日18時37分 日高地方東部の地震の震度分布図



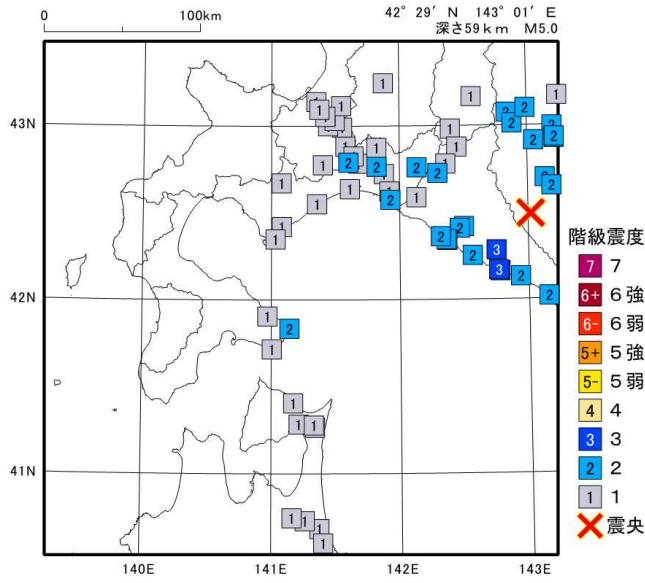
2023年 6月 17日20時35分 オホーツク海南部の地震の震度分布図



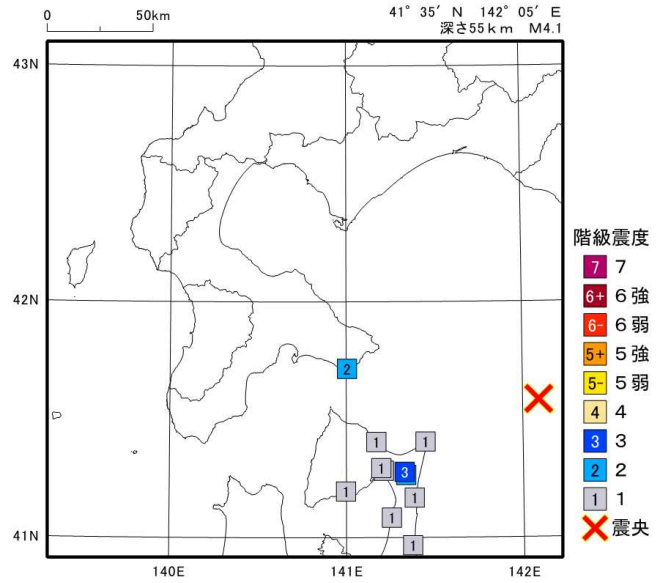
2023年 6月 17日20時42分 青森県東方沖の地震の震度分布図



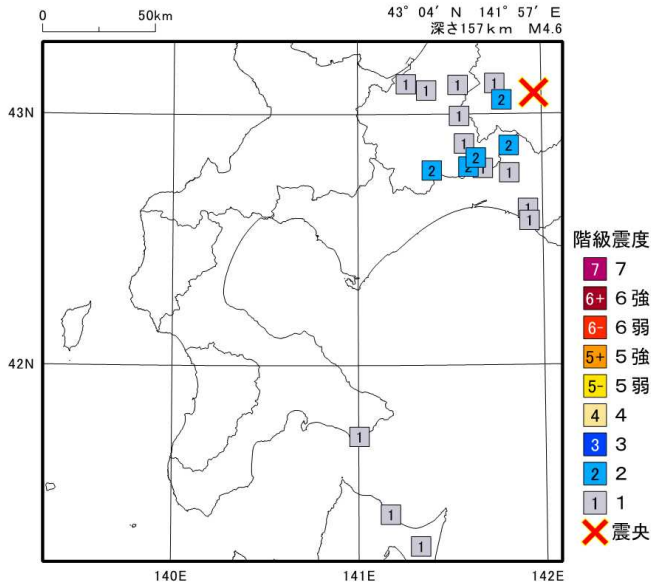
2023年 6月19日13時50分 十勝地方南部の地震の震度分布図



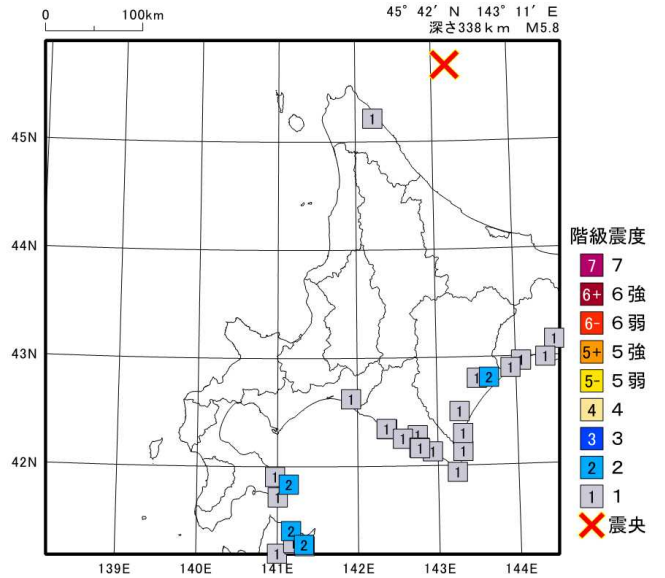
2023年 6月22日16時39分 青森県東方沖の地震の震度分布図



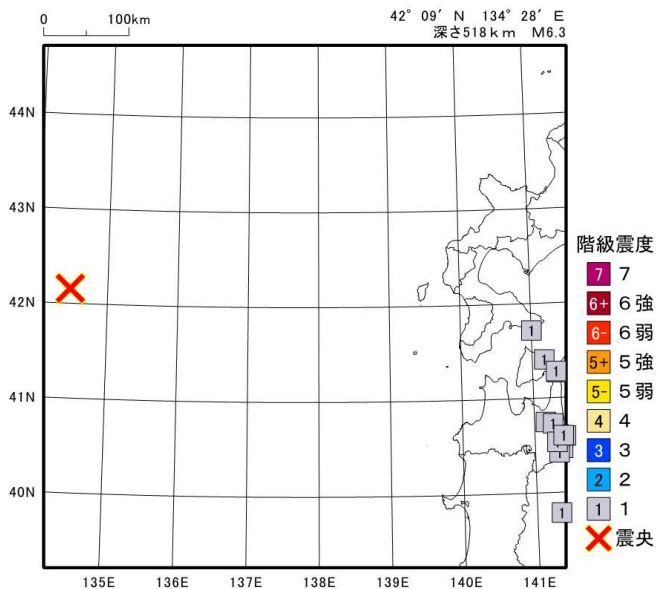
2023年 6月22日19時30分 空知地方南部の地震の震度分布図



2023年 6月24日02時39分 宗谷東方沖の地震の震度分布図



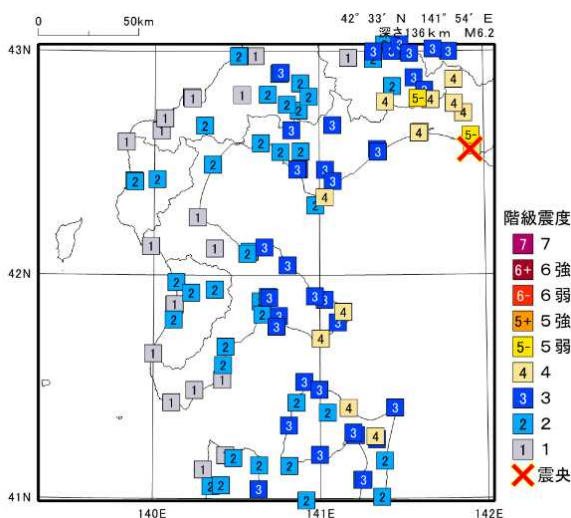
2023年 6月28日08時38分 日本海北部の地震の震度分布図



6月11日 苫小牧沖の地震

2023年6月11日苫小牧沖の地震の震度分布図

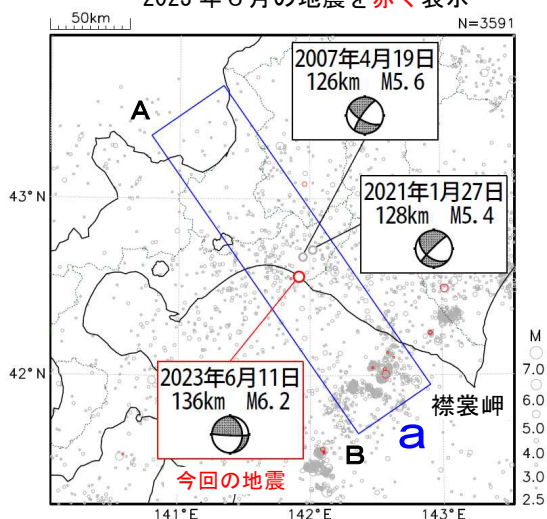
情報発表に用いた震央地名は〔浦河沖〕です。



震央分布図

(2001年10月1日～2023年6月30日、深さ50～200km、M \geq 2.5)

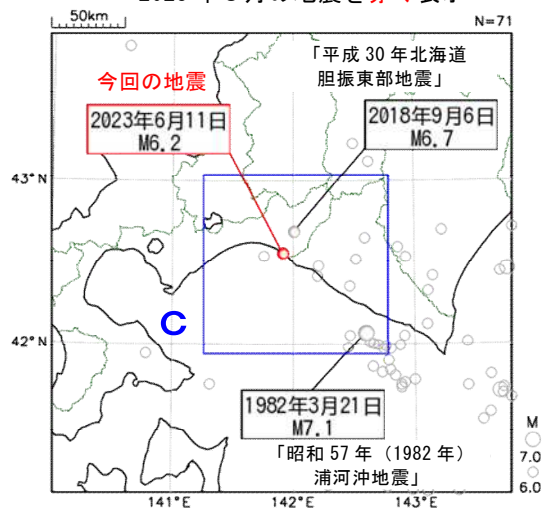
2023年6月の地震を赤く表示



震央分布図

(1919年1月1日～2023年6月30日、深さ0～200km、M \geq 6.0)

2023年6月の地震を赤く表示

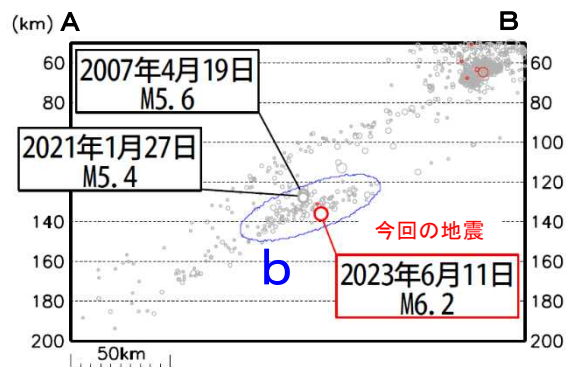


2023年6月11日18時54分に苫小牧沖の深さ136kmでM6.2の地震（最大震度5弱）が発生しました。この地震は太平洋プレート内部（二重地震面の下面）で発生しました。この地震により、軽傷1人の被害が生じました（2023年6月19日17時00分現在、総務省消防庁による）。

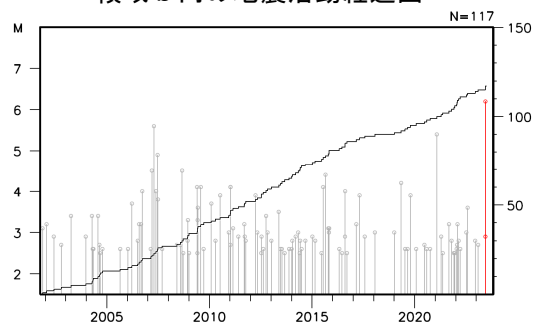
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5.0以上の地震は今回を含めて3回発生しています。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震がしばしば発生しています。2018年9月6日の「平成30年北海道胆振東部地震」（M6.7、最大震度7）により、死者43人、負傷者782人、住家全半壊2,129棟などの被害が生じました（2019年4月1日現在、総務省消防庁による）。

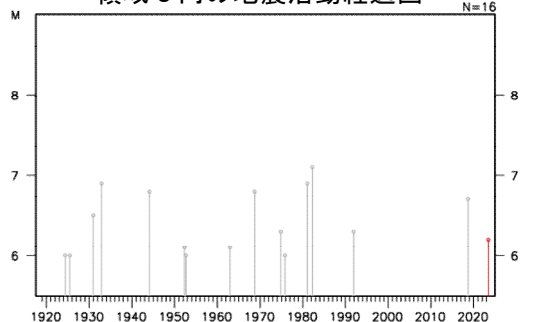
領域a内の断面図（A-B投影）



領域b内の地震活動経過図



領域c内の地震活動経過図



本資料の利用にあたって

- ・ 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

【防災メモ】

～「津波フラッグ」について～

「津波フラッグ」は大津波警報、津波警報、津波注意報（以下、「津波警報等」という）が発表されたことをお知らせする旗です。津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、令和2年6月から海水浴場等で「津波フラッグ」による視覚的伝達が行われています。「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障がいをお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできます。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。

津波フラッグは、視認性や色覚の多様性を重視した上で外国人へも配慮し、海からの緊急避難を知らせる意味で海外でも用いられている「赤と白の格子模様」の旗としています。この旗は、国際信号旗の「貴船の進路に危険あり」を意味するU旗と同様のデザインです。

●利用上の注意点

- 津波フラッグが用いられる場所は、海水浴やマリンスポーツなどを行う人がいる海水浴場等の海岸です。
- 津波フラッグの掲示は、砂浜や海水浴場の監視台等においてライフセーバーや監視員が振る、監視台や海岸沿いの施設に掲示するなどの方法が用いられます。
- 津波フラッグの伝達実施者の安全が確保されない場合、津波フラッグの掲出は行われません。
- 全国的には、海水浴場での津波フラッグの導入は少しずつ広がりつつある状況ですが、津波フラッグが導入されていない海水浴場や、運用されない時間や期間もあります。
- 海水浴場で強い揺れや弱くとも長い揺れを感じた後は、津波フラッグを見かけずとも、速やかに海辺から離れ、より高い安全な場所へ避難してください。

●参考 URL（気象庁 WEB サイト）

- 津波フラッグの解説：

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html



※U旗は右図のように他の国際信号旗と組み合わせることで、別の意味になることがあります。



貴船の進路に
危険あり

+



医療の援助
を求む

=

UW旗



安全な航行をお祈りする